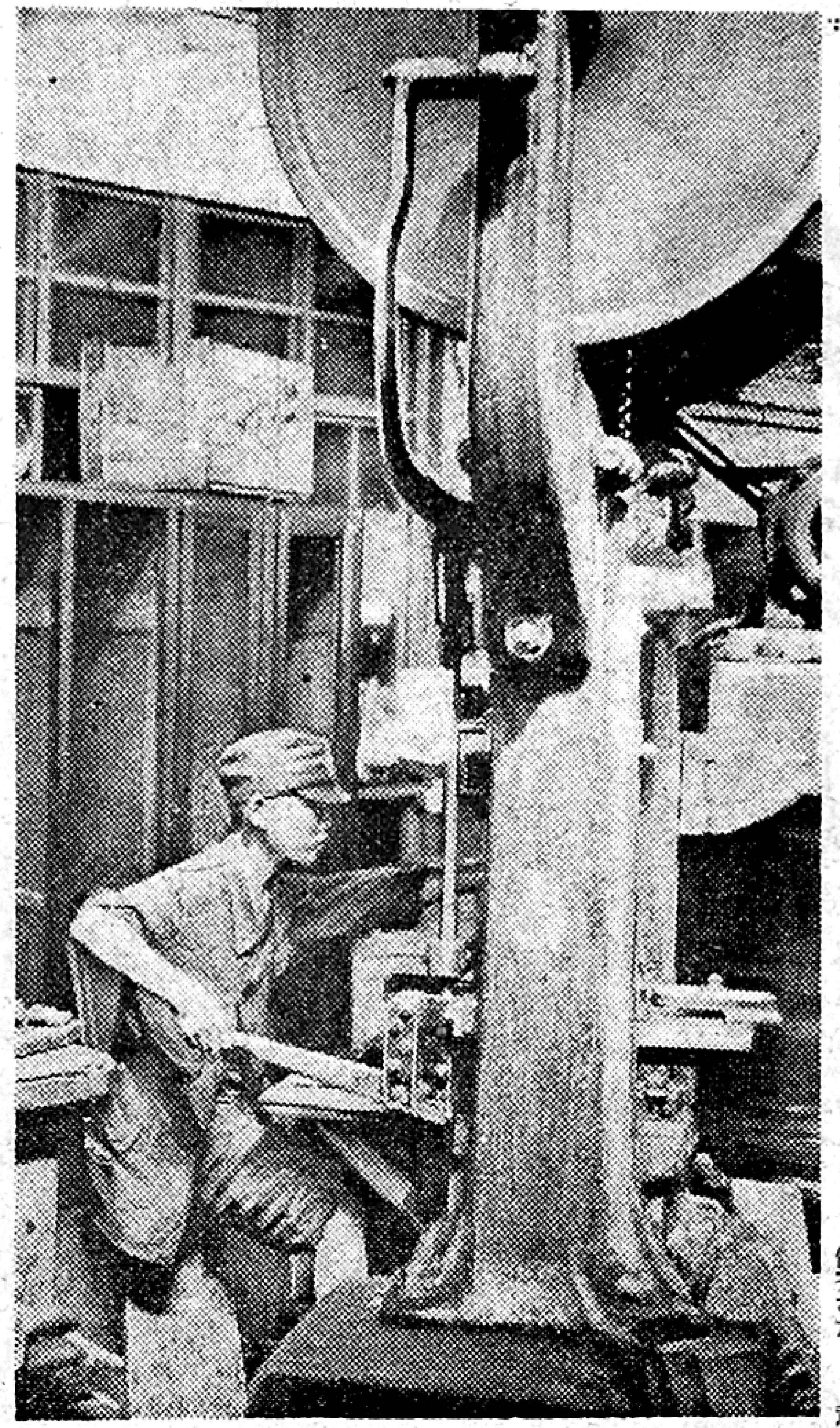
翼増産へ台灣の〝雀部隊〟

見よ！一般工員にも劣らぬ技倆だ

はる〴〵台灣から來た本島青少年が今や一翼を擔ふ優秀航空機の増産へ内地の青少年に伍して必死の敢闘をつゞけてゐる——

〝大日本は神國なり……〟朗に誓詞を終るやラッパ隊を先頭に寮を飛び出す〇〇名、駈足の職場入りは〝雀部隊〟の異名がある程可憐だ、雀が羽搏くやうだといはれるほど小さい十三歳の少年から十五、六歳を中心のこの一隊は少年ながら総てが海軍々屬であつて、勤勞意欲と團結心の強固さを本島人の誇りとして一般工員に劣らぬ優秀さだ——



樂しみは食事と睡眠と貯蓄だといふ、豊かな家庭の者も総て郷里へ送金し、母が亡くなり妹一人の少年、親も弟も妹も亡くなった者でさへ一度も歸島するとはいはない職場死守の激しい決意には頭の下る程だ、中には十月陸軍飛行學校に入隊する者もあり、特幹生、少年兵の志願者も續出して米英必殺の氣魄は内地人に負けない、特に本日から台灣に徴兵制が實施されるので一段と職場にも闘魂こめた感激の胸を高鳴らせて一路増産へ突撃してゐる「憎い敵をやっつけるまでは頑張ります」と意氣に語ってけふも生産総進攻へ駈足行進する少年達の頬は本島人の誇りを賭けていかにも頼母しい【寫眞は活躍を競ふ本島人】

頼むぞこの金で優秀機

北濠將兵から十六万六千円献金

「戰局の現状を打開し、宿敵米英に最後の大鐵槌を下さんとなすに當り航空戰力の飛躍的増強に俟つ處極めて大なるは改めて強調するまでもなし今や決戰期に突入せる部隊將兵としてはその感將に深し、わが優秀なる航空機の一機でも多くを……」とは實に現地將兵の痛切なる念願にて候」との書簡に添へて北濠派遣の某部隊長から十六万六千六百五十七円也を陸軍省へ献金して來た、遙か数千キロの海を隔てる南方前線の將士が「この金で一機でも多くの優秀機を……」と一ケ月分の戰場増俸をまとめて送金して來たのである、さきにブーゲンビル島トロキナ岬のわが勇士が五万八千九十七円十四銭を陣中献金として銃後へ送り來れるあり、今またこの嬉しい「優秀機増産」への期待と熱誠を眼の辺りにして誰か奮ってこの期待に應へんの決意を固めざるものがあらう、熾烈なる硝煙彈雨の中に凡てを擲げて滅敵の銃執るこれら將兵の心中を去來するは一身の生死を越えて米英撃滅の原動力たる航空機の＝特に性能優れたる航空機の増産待望であることをこれ程切實に物語ったものはあるまい、前記部隊長の書簡は「冀くは部隊將兵のこの熱烈なる願望の凝って天翔ける鵬となり驕敵米英撃滅の先駆とならんことを……」と結んであった

身を切る想ひ

三菱　郷古潔氏談

ラバウル、トロキナの勇士からのと今回で三回目と記憶しますが、苛烈極まる前線に在って飛行機生産に想ひを寄せられる勇士がかうして給金まで送って下さることは洵に身を切られる思ひです、邁進

航空兵器總局長官は昨秋以來生産は急カーブで上昇してゐるとはいはれたが、敵との相對量から見ればまたゞく遺憾な數なのです、また最近やかましい質の点でもよく研究し即刻改善して前線にこの上苦勞させぬやう、生産責任者の一人として作業工程の改善、勤勞管理の向上など可及的速かに實行に移し前線勇士の御期待に副ふべく万全の生産布陣で敵の野望を撃滅させねばやまぬ決心です

大學教授も増産

現場へ名大の津上博士

決戰増産へ——一大學の研究室にのみ閉ぢこもってはゐられぬと名帝大教授の榮職を辭して生産の現場に技師長として突進する教授—名帝大工學部津上研藏工學博士は理工學部創設と同時に工作機械第二講座を擔任、ついで教授となり工作機械はもとより精密測定器の研究では學内に重きをなし學外では特殊研究の委託、工作機械の技術指導、公開講演等戰力増強に活躍を續けてゐたが、空前の危機に直面した今日教授としての職責にも増して生産の重要性を感じ自己の本分を決戰下の生産増強に向けるべく決意、長野縣南佐久郡中込町の令兄が創立せる津上精密〇〇會社に技師長として挺身することになり關係方面から多大の期待がかけられてゐる【寫眞は津上博士】

名帝大生源寺工學部長談

津上教授を失ふのは大學としては實に殘念だが現下最重要部面に研究の成果を齎らして生産増強に當らんとする烈々たる決意に感動させられた、この際一大學の都合をいってゐる場合でない、大いに期待してゐます

學徒に溫情の微笑

藤原軍需相熱田様参拜

新任參拜に西下中の藤原軍需相は同じく新任參拜の山本駐華大使とともに三十一日午後名驛着列車で來名、吉野愛知縣知事、岡田東海軍需監理部長、下出義雄氏らの出迎へを受けて驛特別待合室で少憩直ちに熱田神宮に向ったが神宮參道の鳥居際に整列して出迎へた慶大學徒（元藤原工大生）に溫情こもる微笑をもって答禮ののち大前に參進、大東亞戰必勝祈願をこめた、これら學徒は勤勞學徒として愛知航空機〇〇製作所に挺身してゐるが、生みの親たる藤原さんの大臣新任を祝ふ純情からかくは休憩時間に馳けつけたものであった

同相は十四時七分熱田驛發上り列車で歸京、山本大使は十四時三十九分名驛發列車で歸京した【寫眞は熱田神宮參拜を終へた藤原軍需相（前）と山本大使（後）】

東・中・西と管下三分

警報の呼稱變更五日から

中部軍司令部では從來警戒警報と空襲警報發令（解除）の場合ラジオを通じ中部軍司令部又は中軍情報と呼稱し、ついで何々縣地區警戒（又は空襲）警報發令（又は解除）と一般に通報傳達してきたが關係府縣が多地區に亘る時は數地區の地區名を呼ぶため時に誤解の惧れあり、既報の如く今回地區名呼稱に改善を加へることになり、府縣別呼稱以外に或る一地區（又は二地區）に限り警報を必要とする場合は管下を三分して東、中、西地區と呼び、來る五日の零時以後この方法を實施することになった、從って指定の警報受領者に對する傳達もラジオ同樣この地區名を用ひることになったが、右追加される地區名呼稱方法については關係隣組へは近く回覽板をもって通報される筈である

ガスけふから消費規正

重要工業用ガス確保のため東海軍需監理部では關係各縣並に各ガス會社と連絡して今一日から消費規正を更に強化、三菱發動機はじめ十大工場は一割乃至一割三分、他の工場は一割八分乃至二割七分を規正、同時に一般家庭、會社、官廳用は現行指示額の三割減励行に決した、特に一般民需と家庭では檢針の時に使用量超過の場合はガス會社で適時供給停止を断行するから注意を要する

増産の任務重し

悲報に歸らぬ勤勞學徒

愛知縣トヨタ自動車で敢闘中の新潟縣柏崎工業勤勞學徒中には郷里の水害で住家を流失したり半壊となった者もあり、父兄から相ついで悲報が齎らされ「一度歸って家族の安否を確めては……」との指導員の勸めに「家の流れたことは私事である僕らの任務は重い」とて職場を離れぬ申合せをもってこれに應へ、入職以來一ケ月半総皆勤をつゞけて敢闘、會社から特別表彰された

河北精機に初の女伍長

河北精機工場で翼増産に敢闘する愛知縣海部郡甚目寺町故山下豊次軍曹未亡人律子さん（三〇）は入社以來三年間一日も缺勤せず檢査工として勵精、律子さんの檢査を通った製品は十割合格といふ好成績で會社では職員に昇格させようとしたが「ペンを握るより武器を造って夫の仇を討ちたい」とて受けぬので一日付で同工場初の女伍長に任命した

少年工も銃劍を執れ

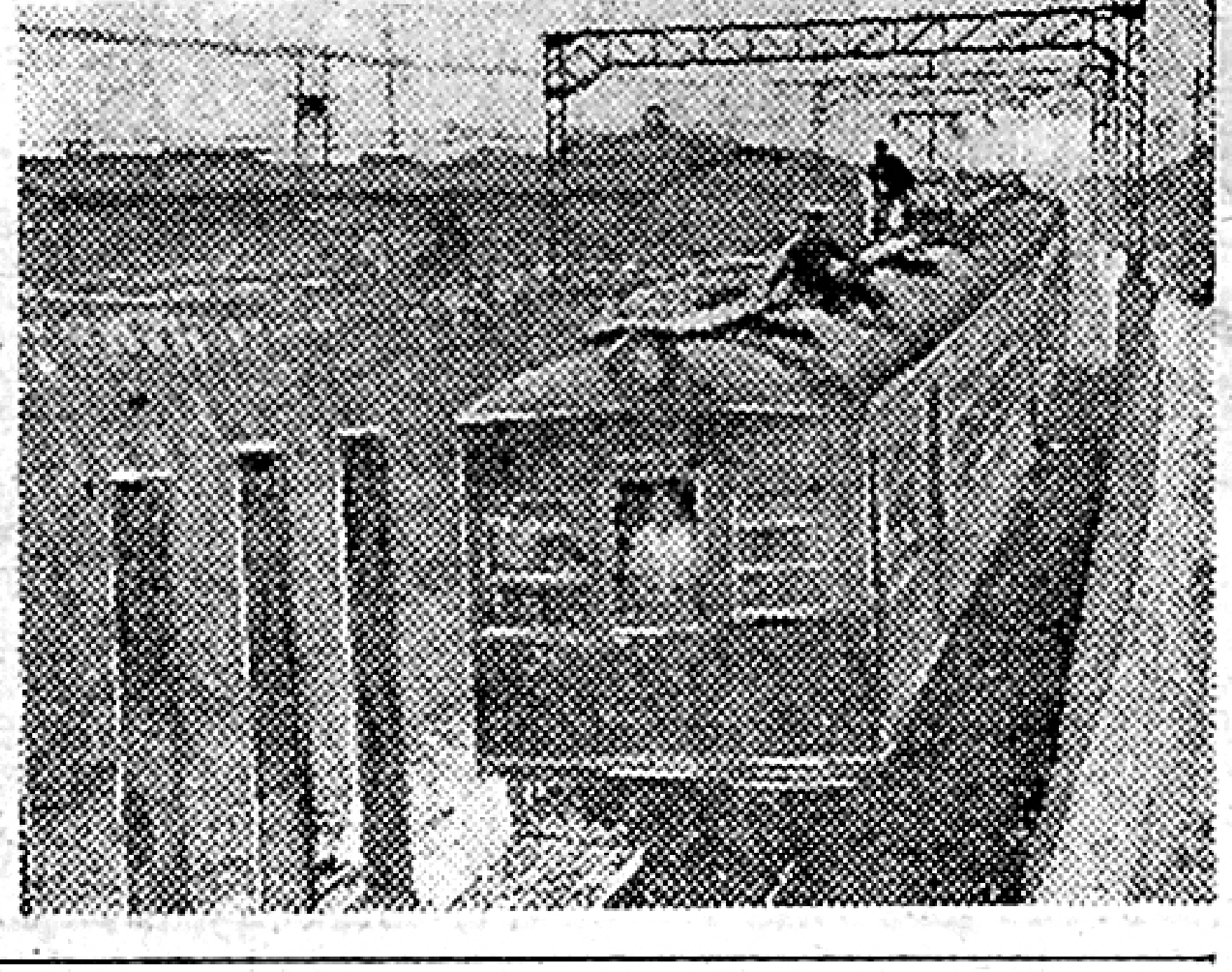
まづ恩顧ある工場の諒解を得よ

二十年度の陸軍少年兵徴募は既に始まってゐるが日夜増産に邁進する少年産業戰士達は少年兵となって直接敵撃滅の銃劍を執るか、工場に踏み止まって増産報國に励むか——その悩みは大きい、陸軍省兵備課ではこの問題について少年工員と工場當局に對し次の如く要望してゐる

折角少年兵を志しても工場の幹部や家族等が干渉したり斷念させようとするといふ弊を聞く、工場側としては見習工時代から手塩にかけ、これから大いに働いて貰はうと頼みにしてをった工員が齒の拔けるやうに缺け、しかも今日その補充は殆ど期待し難いのみならず増産の要求は日毎に熾烈な時、工員の軍人志願を好まぬのも一應無理からぬことだ、軍としても重要産業以外の方面から所要の志願者全部を採用できれば重要工場方面からの採用は差控へる考へでこの方面の熟練工で一般の現役兵として入營する者へは軍は忍び難きを忍んで相當期間入營時期を遅らせて生産力低下防止に協力してゐるが少年兵は軍の重要な骨幹をなすもので、しかも飛行機の操縦者や船舶など各種高度の重要技術を擔當し特殊の戰力発揮を期待する兵種で軍事上の價値は高い、從って採用上も特に体格には厳格な條件がある、國民皆働の今日工場を除いて果して幾何の人員が採用出來ようか、半面工場に於る少年の地位は何といってもまだ適齢未滿のものだけにその重要度は次等であらう、個人々々について見れば手放し難い事情にあるとは思ふが國家全般から見たならば殊に現戰局から見たならば工場側から率先進んで少年兵志願に協力していただきたいと思ふ、なほ少年兵を志願する諸君も軍人になるといふ立派な目的であるからといって多年恩顧をうけた工場の人々に無斷で飛出して來るなどは穩當ではない、諸君の純心熱烈な愛國心に愬へてよく工場側の人々にお話すれば必ず諒解していたゞけると確信する、軍は円滿に話をつけて應募せられんことを切に望んでゐる

名鐵連絡線けふ開通

難工事も僅か四ケ月で完成



名鐵電車東西連絡（新名古屋驛—神宮前驛間五・八キロ）の突貫工事は運通省、名鐵局の協力で昭和二十一年完成の豫定を藤原査察使、五島運通相らの視察で緊急臨戰工事として一部設計を變更本格的着工以來僅か四ケ月といふ驚異的速度で難工事を突破單線で卅一日朝七時半から試運轉が行はれたが好成績で今一日からいよ〳〵待望の開通、大中京の交通難に緩和に大きな役割を果すこととなった、中間驛は既報の如く當分金山のみとし、料金は新名驛—神宮前驛間十錢である、なほ東西兩線の電壓の關係で當分は乘換へを新名驛、金山、神宮前の三驛で行はねばならぬが今月中旬ごろからは金山一ケ所の乘換へで連絡が出來る、一日は午前十時から開通式を擧行、なほ名古屋中央放送局ではこの工事に挺身する學徒や名鐵局からの應援隊の作業實況、開通式の模樣や初發電車狀況等を同日午後五時の報道の時間に錄音放送する【寫眞は東西連絡線の試運轉電車】

延鐵機の安全装置に成功

岐阜縣柳原〇〇工場では場内に創意工夫函を設けて工員たちから職場の研究發明を募り、各自の研究競爭で兵器増産能率の増進をはかってゐる、函の中には五月以來創意工夫を凝った廿三件が投げ入れられ、うち優秀なものは專門的技術を加へて既に實用化し五倍十倍の増産能率を擧げてゐるが、中でも藤井平吉さん（四〇）はこれまで鋼のエンジンに使用する壓延鈑作業に障碍が多く能率も低かった延鐵機を改良、ローラーの前後に安全装置を施して危險防止に成功、しかも今日では男に代って女子工員が作業についても完全に二倍は増産できてゐる、また安田碩太郎君（三〇）は翼の發動機作業に重要な部分品を作る足踏波谷機の能率が擧らず不合格品も多いのでハンドル式製作機を發明、これも女子工員の手で一日五十倍といふ驚異的増産を擧げてゐる、なほ同工場では技術員養成所を開設し考案、發明に一段と力を注ぐこととなった

家郷だより

岐阜

岐阜縣中部航空精機の決戰職場で親子三人以上の敢闘組が三組と兄弟組三人組が十五あり互に勵まし合って同じ職場で敢闘してゐる、特に曾根伸次郎さん（四七）＝東濃土岐郡下石町出身＝の一家は妻りんさん（四三）長女美惠子さん（二三）三男重夫君（一七）ら親子四人が同じ職場で厳しい増産競爭をやってゐる

福井

三方郡南西郷村郷市では戰時生活の徹底を期し各戸毎に營んできた先祖の年忌法要を廢め春秋のお彼岸中日に部落の合同法要厳修を申合せ今秋から實施

滋賀

彦根市中藪部落では耕地愛護運動を展開、三十日から毎朝全部落員氏神に參拜、畦畔木の伐採、灌漑水路の改修、草刈などに敢闘、米、麥供出一番乘りをめざしてゐる

石川

縣では航空機、船舶等軍需生産の増強のため一日から縣軍需課分室に機械工業技術指導部と機械修理部を設け金沢高校、重要工場長、技術者など指定工場三十三工場を打診指導する

點

投稿歡迎△葉書三百字迄△宛名中部日本新聞「点」係

働き人夫は呑氣

△半月ほど前から〇〇用地の整地工事がはじめられ數百の人夫が毎日働いてゐるが奇怪なことは人夫らの働きぶりだ

△朝は陽も高い八時ごろに仕事にかゝり晝食後は木陰に寢そべり午後も晝寢の時間があり、そして五時前に歸ってしまふ、どうみてもわれわれ百姓の半分くらゐしか勞働時間がない、それでゐて一日何十円の賃銀を得るといふ話だ

△如何にも人夫の働き振は氣にくはぬ、一日七時間、八時間と時間を切ってゐて危急の間に合ふものか、われ〳〵には一日何時間といふ規則がない、未明から手先のみえるうち働く、ドイツでは官廳の勤務時間を十時間にしたといふが、わが國でもあらゆる部面が農民の如く日出から日没まで働くべし

（一農民）

職域貯蓄査察

愛知縣産報會ではけふ一日から一ケ月の職域貯蓄増強期間中に縣下會員工場全部に對し職域貯蓄査察を實施する、同査察は職員が工場に出張、目標達成の進行狀況、推進機構整備狀況、青少年工員の貯蓄狀態等につき調査指導するもの

母親教育の時間

ラジオの新企畫

放送局では一日から新たに午前十時の時報を設ける一方、母親學校の時間を新設、お母さん達の教養に資する、これは毎週一回月曜日の午後一時から三十分間で第一回は四日「荒鷲の母を訪ねて」を放送